

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公表番号】特表2018-511793(P2018-511793A)

【公表日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-016

【出願番号】特願2017-546775(P2017-546775)

【国際特許分類】

G 01 C 3/06 (2006.01)

G 01 B 11/00 (2006.01)

G 01 B 11/24 (2006.01)

【F I】

G 01 C 3/06 1 2 0 Z

G 01 B 11/00 H

G 01 B 11/24 K

G 01 C 3/06 1 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月1日(2019.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項30】

少なくとも1つの対象物(112)の光学的検出のための方法であって、以下の工程、  
- 少なくとも1つの縦方向光センサ(114)を使用して少なくとも1つの縦方向センサ信号を生成する工程、ここで、縦方向センサ信号は、変調された光ビーム(134)によって縦方向光センサ(114)のセンサ領域(130)の照明に依存し、縦方向センサ信号は、照明の全パワーが同じである場合、センサ領域(130)の変調された光ビーム(134)のビーム断面と照明の変調の変調周波数(138)に依存し、縦方向センサ信号は、第1の成分と第2の成分を有し、第1の成分は、変調された光ビーム(134)の変調の変化に対する縦方向光センサ(114)の応答に依存し、第2の成分は、照明の全パワーに依存する；及び

- 縦方向センサ信号から第1の成分及び第2の成分を導出することによって縦方向光センサ(114)の縦方向センサ信号を評価する工程、ここで、対象物(112)の縦方向位置に関する情報の項目は、第1の成分と第2の成分を用いて決定される；

を有することを特徴とする方法。